

令和6年2月2日

予算の特徴

新 時 代 へ の 扉 を 拓 く 挑 戦 予 算

◎令和6年度当初予算の重点事業

P X (パブリック・トランスフォーメーション) の取組

I. 総合計画（3本の柱）の推進

① 「防災力の強化」

・能登半島地震を受けた対応 ・消防本部機能高台移転 など

② 「スマート自治体への転換」

・新時代の国際化 ・DX・GXの推進 など

③ 「確固たる財政基盤の確立」

・大山田PAのスマートインターチェンジ化 ・企業誘致の推進 など

II. 桑名市人口減少対策パッケージ

① フェーズ1「流入促進」

・市内企業と取り組む移住支援 ・空家を活用した移住促進 など

② フェーズ2「定着環境整備」

・新婚世帯への住居支援 ・放課後児童対策のための支援員の充実 など

③ フェーズ3「流出抑制等」

・若者のニーズにあった施策の推進 など

III. 重点プロジェクトの推進

・多度地区小中一貫校整備 桑名駅周辺施設整備 など

IV. 保育現場の充実

・保育等人材の確保 ・手厚い保育士配置の実現 など

予算の規模

- ◆ 令和6年度 一般会計当初予算 639.5億円
(令和5年度対比 95.8億円、17.6%の【増】)

当初予算規模の推移

(単位：千円)

当初予算	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	50,815,449	52,027,111	52,674,172	54,367,340	63,949,752
増減率	0.4%	2.4%	1.2%	3.2%	17.6%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 2.6億円、1.2%【減】の 220.2億円
 - ・ 市民税 99.7億円 (R5 104.6億円、▲4.7%)
 - 個人 87.6億円 (R5 94.6億円、▲7.4%)
 - 法人 12.1億円 (R5 10.0億円、21.0%)
 - ・ 固定資産税 96.5億円 (R5 95.1億円、1.5%)
 - 土地(現年) 32.0億円 (R5 31.8億円、0.6%)
 - 家屋(現年) 42.9億円 (R5 41.9億円、2.4%)
 - 償却(現年) 20.4億円 (R5 20.3億円、0.5%)

地方消費税交付金の状況

- ◆ 地方消費税交付金は、前年度対比で 1.0億円、3.0%【減】の 32.0億円

地方交付税及び臨時財政対策債の状況

- ◆ 地方交付税及び臨時財政対策債は、前年度対比で 2.0億円、3.7%【増】
の 55.6億円
 - 地方交付税 + 臨時財政対策債
= 55.6億円 (R5 53.6億円、3.7%)
 - ・ 地方交付税 53.1億円 (R5 48.2億円、10.2%)
 - 普通交付税 45.0億円 (R5 40.1億円、12.2%)
 - 特別交付税 8.1億円 (R5 8.1億円、0.0%)
 - ・ 臨時財政対策債 2.5億円 (R5 5.4億円、▲53.7%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 15.6 億円、39.0%【増】の 55.6 億円
 - ・ 財政調整基金繰入金 31.5 億円 (R5 24.7 億円)
 - 令和4年度末 財政調整基金残高 決算 70.4 億円
 - 令和5年度末 財政調整基金残高見込み 60.3 億円

年度末財政調整基金残高の推移

	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算見込み
年度末財政調整基金残高	43.4 億円	55.9 億円	70.4 億円	60.3 億円

市債の状況

- ◆ 市債は、前年度対比で 42.7 億円、106.2%【増】の 82.9 億円
 - ・ 臨時財政対策債 2.5 億円 (R5 5.4 億円、▲53.7%)
 - ・ 合併特例事業債（借換債除く）8.5 億円 (R5 11.3 億円、▲24.8%)
 - ・ 公共施設等適正管理推進事業債
48.1 億円 (R5 9.8 億円、390.8%)
 - ・ 緊急防災・減災事業債 8.0 億円 (R5 6.2 億円、29.0%)

起債額の推移

	R2 当初	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初
一般会計	43.0 億円	63.9 億円	36.9 億円	40.2 億円	82.9 億円
うち臨財債	17.2 億円	30.0 億円	9.7 億円	5.4 億円	2.5 億円

年度末市債残高の推移

	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算見込	R6 当初
一般会計	551.6 億円	550.4 億円	529.6 億円	517.0 億円	542.9 億円
うち臨財債	251.7 億円	258.1 億円	245.2 億円	228.6 億円	213.2 億円

義務的経費の状況

- ◆ 義務的経費は、前年度対比で 19.0 億円、6.8%【増】の 296.8 億円
 - ・ 人件費 105.6 億円 (R5 97.4 億円、 8.4%)
 - ・ 扶助費 132.4 億円 (R5 123.5 億円、 7.2%)
 - ・ 公債費 58.8 億円 (R5 57.0 億円、 3.2%)

公債費の推移

当初予算	R2	R3	R4	R5	R6
一般会計	59.4 億円	59.0 億円	59.9 億円	57.0 億円	58.8 億円

投資的経費の状況

- ◆ 投資的経費は、前年度対比で 66.4 億円、117.3%【増】の 123.0 億円

投資的経費の推移 (下段は対前年度比)

当初予算	R2	R3	R4	R5	R6
一般会計	52.3 億円	51.7 億円	47.7 億円	56.6 億円	123.0 億円
	▲13.5%	▲1.1%	▲7.8%	18.7%	117.3%

その他の経費の状況

- ◆ その他経費は、前年度対比で 10.6 億円、5.0%【増】の 219.7 億円
 - ・ 物件費 91.6 億円 (R5 89.8 億円、 2.0%)
 - ・ 維持補修費 6.2 億円 (R5 4.9 億円、 26.5%)
 - ・ 補助費等 69.8 億円 (R5 60.4 億円、 15.6%)
 - ・ 積立金 5.7 億円 (R5 7.2 億円、 ▲20.8%)
 - ・ 繰出金 45.5 億円 (R5 45.9 億円、 ▲0.9%)
 - ・ その他 (貸付金 0.6 億円、予備費 0.3 億円)

令和6年度当初予算主な事業

1 中央集権型から全員参加型の市政に

- ◆ **地域コミュニティ推進事業費** 【継続】 3,734万2千円 《総務費》
「市民の個性が活かせる地域コミュニティ」を確立するため、令和5年度までに認定されたまちづくり協議会にまちづくり交付金を交付するなど、地域の特性に応じた活動が展開できるよう財政支援等を行い、地域運営組織の形成に向けた取組を促進する。

- ◆ **若者施策推進ワークショップ事業費** 【新規】 303万円 《総務費》
若者の意見を聞くことによって効果が得られる事業について、若者研究を進める事業者のサポートを受け、若者を対象としたワークショップを開催、意見聴取を行う。

- ◆ **市民満足度調査事業費** 【新規】 347万円 《総務費》
市民の市政に対する満足度やニーズを把握し、施策の企画立案及び実施に当たっての基礎とするため、市民満足度調査を実施する。

- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田地区市民センター施設整備費）** 【継続】
1億1,162万5千円 《総務費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田まちづくり拠点施設施設整備費）** 【継続】
3億418万円 《総務費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（防災広場施設整備費）** 【継続】
1,980万円 《総務費》
消防本部の高台移転に加え、大山田地区市民センター・まちづくり拠点施設との複合施設を建設することで、市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図る。

2 命を守ることが最優先

- ◆ **病院事業運営費負担金** 【継続】 11億14万1千円 《衛生費》
地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院事業運営経費の一部について、設立団体である市が負担する。

- ◆ **がんとの共生推進事業費** 【新規】 542万6千円 《衛生費》
がん患者の精神的・経済的負担を軽減するとともに療養生活の質の向上を図り、就労継続等社会参加を支援する。また、医学的知見に基づき回復の見込みがない状態の若年世代のがん患者に、訪問介護や福祉用具等の利用に必要な費用の一部助成を行う。

- ◆ **妊婦歯科健康診査事業費** 【新規】 378万8千円 《衛生費》
 歯周病の原因菌は低体重児出産や早産へのリスクを高める等、赤ちゃんへも影響を及ぼすおそれがあることから、妊婦の歯科健康診査を実施する。

- ◆ **木造住宅耐震事業費** 【拡充】 1,836万6千円 《土木費》
 本年1月に発生した「令和6年能登半島地震」において、木造住宅の倒壊が多く見られ、市民の防災意識の高まりを想定し、旧耐震基準の木造住宅について、住宅の耐震化を推進し、地震の揺れから家屋の倒壊を防ぎ、市民の命を守るため事業を拡大する。

- ◆ **ゾーン30プラス整備事業費** 【新規】 1,995万1千円 《土木費》
 益世地区のゾーン30プラスの整備に向け、区域内の区画線・グリーンベルト・ゾーン30プラス標示・標識の設置ならびに物理的デバイスを新たに設置する。

- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（消防本部施設整備費）** 《継続》
6億5,189万5千円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田分署施設整備費）** 《継続》
2億9,252万3千円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田分署感染症対策施設整備費）** 《継続》
9,518万4千円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（無線機器移設関係経費）** 《継続》
3,850万円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（消防団施設整備費）** 《継続》
2,486万9千円 《消防費》
 市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図るため、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備を実施する。

- ◆ **備蓄用物資等拡充費** 【拡充】 1,338万4千円 《消防費》
 桑名市備蓄・調達基本方針に基づき、災害時に被災者支援に必要となる備蓄用物資を計画的に整備するほか、「令和6年能登半島地震」を受け、本市が被災した際、必要と見込まれる備蓄用物資を追加で整備する。

- ◆ **感震ブレーカー設置補助事業費** 【新規】 100万円 《消防費》
 南海トラフ地震の発生が危惧される中、地震発生時に自動的に電気の供給を遮断することができる感震ブレーカーの設置を促進することで、未然に火災被害の防止を図る。

- ◆ **IP無線導入事業費** 【新規】 1,815万円 《消防費》
 災害時の情報収集・伝達のために設置している移動系防災行政無線は、更新時期が既に経過していることから、新たな情報収集・伝達手段としてIP無線を整備し、防災機能の拡充を図る。

3 こどもを3人育てられるまち

- ◆ **出会い・結婚支援事業費** 【継続】 316万7千円 **《総務費》**
マッチングアプリ事業者との連携による出会い支援や、仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベントを開催し、恋愛や結婚を希望する市民が、その希望が叶うきっかけづくりを提供する。
- ◆ **結婚新生活支援事業費** 【新規】 6,600万円 **《総務費》**
結婚に伴う新生活を経済的に支援し、少子化対策の推進に資することを目的に、新婚世帯の住宅取得費用、住宅のリフォーム費用及び住宅賃借費用並びに引越費用の補助を行う。
- ◆ **子ども医療費** 【継続】 5億6,453万円 **《民生費》**
子育て家庭など若い世代の流入・定着を促し、すべての子育て家庭が安心して子育てができる環境を整備するため、保護者の所得制限を撤廃し、18歳年度末まで（高校生相当）の子どもを対象に、窓口負担も無料化して支給を行う。
- ◆ **放課後児童対策拡充事業費** 【新規】 5,678万3千円 **《民生費》**
待機児童対策や放課後支援員の人材確保のため、学童保育所に対し、家賃補助や放課後児童指導員等に対する処遇改善補助を行う。
- ◆ **民間の力を活用した児童相談体制強化事業費** 【新規】 723万円 **《民生費》**
児童相談業務について派遣委託を行うなど民間の力を活用し、相談体制等を強化することにより、児童虐待の未然防止及び障害福祉サービスの充実を図る。
- ◆ **選べる桑名子育てリフレッシュ事業費** 【拡充】 5,958万6千円 **《民生費》**
市と民間事業者が協力し、子育て世帯が、選ぶことができるリフレッシュ事業を3歳未満の子どもを育てる保護者まで対象を拡大し、子育て世代のウェルビーイングを高め、定着環境整備を図るとともに、子育てを応援する機運を醸成する啓発も行う。
- ◆ **保育士等人材確保推進事業費** 【新規】 6,456万5千円 **《民生費》**
保育士等有資格者や保育士等を目指す方が、円滑に保育現場に就職できるような支援や情報発信等を行うことにより、就学前施設への就職を促し、適切な保育の実施及び待機児童対策のために必要な保育士等の確保を目指す。
- ◆ **保育士等就労継続応援事業費** 【新規】 1,500万円 **《民生費》**
離職防止及び働く保育士等を応援する為、3年目、5年目、7年目、10年目、15年目など節目に奨励金を支給する。

- ◆ **手厚い保育士配置応援事業費** 【新規】 7,000 万円 《民生費》
 市内の保育施設における保育士配置基準緩和や保育士のノンコンタクトタイムや休暇取得の促進を図ることを目的に、手厚い配置をするために保育士を採用した園に対して、その人件費の補助を行うことにより、就学前施設全体の保育環境の改善を図る。

- ◆ **おむつの回収とサブスクリプション導入事業費** 【新規】 795 万 3 千円 《民生費》
 使用済みオムツの保育所（園）等での回収に対して補助する。また、公立保育所でオムツのサブスクリプションを導入する。

- ◆ **全員参加型保育環境づくり事業費** 【新規】 636 万 5 千円 《民生費》
 保育士等の研修機会確保と交流促進を進め、民間事業者と連携した巡回相談・発達支援、またテーマごとの意見交換会実施や保育士等専用ダイヤルの設置を行う。

- ◆ **第三者評価促進事業費** 【新規】 285 万円 《民生費》
 保育の質を確保するため、第三者の評価システムを取り入れた保育園等に対して、国の補助を超えた金額を市独自で上乗せする。

- ◆ **桑名市版子ども応援手当（児童手当拡大対応）** 【継続】 1 億 9,555 万円 《民生費》
 児童手当法施行令の一部改正により児童手当（特例給付を含む）を受給できなくなった世帯及び、中学校卒業後から 18 歳年度末まで（高校生相当）の子どもがいる世帯に、対象児童 1 人当たり月額 5,000 円を市独自で給付する。

- ◆ **桑名市部活動サポート事業費** 【新規】 667 万 4 千円 《教育費》
 部活動の地域移行や地域連携に向けた合理的で効率的な部活動の在り方について検証を行うことで、段階的な休日の部活動の地域移行を実現していく。

- ◆ **教育 ICT 環境整備事業費** 【継続】 2 億 8,943 万 4 千円 《教育費》
 新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子ども達が 9 年間の義務教育を通して身に付けられるようにするため、市内小中学校における ICT 環境の整備を継続的に行う。

- ◆ **小中学校再編計画策定事業費** 【継続】 1,097 万 3 千円 《教育費》
 人口減少に伴う児童生徒数の減少がもたらす小中学校の小規模化及び学校施設等の老朽化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、多度地区を除く（仮称）桑名市立小中学校再編計画の策定を行う。

- ◆ **多度地区小中一貫校建設事業費** 【継続】 53 億 7,500 万円 《教育費》
 多度地区における小中一貫校整備について、設計施工一括発注方式による事業者ノウハウを活かし、本年度は設計・工事・工事監理を行う。

- ◆ **施設改修事業費（中学校費）** 【継続】 2億6,846万6千円 《教育費》
中学校の安全確保及び良好な教育環境を整えるため防火設備、放送設備やバリアフリー化などの工事等を実施する。

4 世界に向けて開かれたまち

- ◆ **多文化共生推進事業費** 【継続】 290万4千円 《総務費》
外国人住民が増加している中、行政サービスの多言語対応や外国人住民の地域社会との共生促進を行うことで、外国人も含めた誰にとっても安心して住みやすい、誰一人取り残さないまちづくりを目指す。
- ◆ **国際戦略外国人支援プラットフォーム整備事業費** 【新規】 921万2千円 《総務費》
外国人の生活に係る様々な相談を対応するとともに、外国人の立場やニーズにあう行政運営を行い、外国人からも選ばれる多文化共生社会への環境整備を行う。

5 地理的優位性を活かした元気なまち

- ◆ **次世代モビリティサービス推進事業費** 【継続】 2,500万円 《総務費》
社会情勢の変化に対応するため、従来のシステムに代わる新たな交通ネットワークのあり方や、将来的な自動運転の実現可能性の検討を行うための実証実験を実施する。
- ◆ **AI活用型オンデマンドバス導入推進事業費** 【継続】 2,000万円 《総務費》
AIを活用した配車やルート検索等の機能を備えたオンデマンドバスの取組みを実施し、地域全体で支える持続可能な公共交通の仕組みの構築を目指す。
- ◆ **移住・定住促進事業費** 【継続】 5,330万円 《総務費》
人口減少対策に寄与するため、県外及び市外から本市へ移住する目的で住宅を取得した方に対して、最大補助額100万円の補助金を交付する。
- ◆ **移住支援事業補助金** 【継続】 300万円 《総務費》
東京圏から桑名市へ、三重県と共同して行う移住・就業マッチング支援事業を活用し移住・就業する場合、「テレワーカー」が移住する場合又はプロフェッショナル人材事業等を利用して移住・就業する場合を対象に、移住支援金を交付する。
- ◆ **スマートインターチェンジ推進事業費** 【継続】 500万円 《土木費》
都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域の南部やインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実や都市内幹線道路の整備を図る。

- ◆ **道路防災対策事業費** 【継続】 1億2,900万円 《土木費》
 災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止することを目的に、市内各所における道路施設の整備を行う。

- ◆ **土地区画整理事業補助金** 【新規】 1億5,000万円 《土木費》
 都市計画道路桑名北部東員線を施行地区に含む組合施行の土地区画整理事業に対して補助金を交付し、都市計画道路桑名北部東員線の整備促進並びに工業系企業誘致の促進を図る。

- ◆ **桑名北部東員線等** 【継続】 1億1,200万円 《土木費》
 スマートインターチェンジ設置に向けたアクセス道路として、桑名北部東員線の未整備区間である主要地方道四日市多度線～国道258号の整備を行う。

- ◆ **桑名駅周辺施設整備事業費** 【継続】 1億6,671万5千円 《土木費》
 桑名駅周辺地区整備構想及び桑名駅自由通路整備に合わせ、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上及び賑わいと活力ある拠点づくりを進める。

- ◆ **土地区画整備事業費** 【継続】 25億6,903万5千円 《土木費》
 桑名駅西側地域において、木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域となっているため、道路や駅前広場、下水道等のインフラを整備し、駅西口への円滑なアクセスと住環境の改善を図る。

6 桑名をまちごと『ブランド』に

- ◆ **新桑名市誕生20周年記念式典事業費** 【新規】 966万2千円 《総務費》
 新桑名市が誕生してから20年を迎えるにあたり、市民みんなの力で培ってきたこれまでの20年からさらなる発展をめざし、市民一人一人がこれからの桑名の未来を創り上げていく礎となるよう「新桑名市誕生20周年記念式典」を開催する。

- ◆ **広報くわな発信力強化事業費** 【新規】 98万6千円 《総務費》
 情報発信力を強化するため、特定のQRコードをスマートフォンやタブレットから読み込むことで、広報くわなに掲載した画像が動画で見られるようにする。

- ◆ **ブランド推進事業費** 【継続】 1,083万8千円 《総務費》
 本市の地域資源の魅力を体験する「桑名ほんぱく」を実施し、桑名に対する愛着や誇りを高めることで、桑名に訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やしていくほか、大河ドラマ誘致プロジェクトを通してブランド力向上を図る。

- ◆ **パブリックリレーション事業費** 【継続】 1,131万7千円 《総務費》
 これまで行ってきた「桑名ブランド」のPRによって培ったノウハウを活かし、国際化、関係人口の創出、地方創生の実現を目指し、世界共通言語の英語を使う方々との関係性の構築を図る。

- ◆ **竹資源循環創出推進事業費** 【継続】 1,340万6千円 《農林水産業費》
 桑名の竹を活用した事業を産官学で推進することで、放置竹林の解消を図るとともに地域内循環を促進し、SDGsの目標・理念に基づく未来に向けた農業・経済活動を推進する。

- ◆ **山林整備事業費** 【新規】 5,140万2千円 《農林水産業費》
 整備対象森林(スギ・ヒノキの人工林)を整備し、次年度整備森林所有者の意向調査を実施する。

- ◆ **ため池等整備事業費** 【継続】 9,900万円 《農林水産業費》
 農業用ため池等の決壊・漏水などによる、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然に防止するため改修機能回復を行う。

- ◆ **企業誘致推進事業費** 【継続】 4,547万4千円 《商工費》
 本市の企業誘致をさらに推し進めるため、これまでの立地奨励金・定住促進奨励金の取り組みに加え、戦略的に誘致活動を進めるための経費を計上する。

- ◆ **人材確保支援事業費** 【新規】 2,500万円 《商工費》
 市内中小企業に就職した新卒・転職者で市内に住所を有する者を雇用する企業を支援するため、市内企業の人材確保を後押しする桑名商工会議所の事業を補助する。

- ◆ **桑名水郷花火大会開催事業費** 【継続】 1,000万円 《商工費》
 昨今の社会情勢の影響で、花火大会の会場設営経費や警備費用が高騰している中で、安全・安心に花火大会を開催する。

- ◆ **移住促進空家等リフォーム補助金** 【新規】 1,500万円 《土木費》
 市外から本市へ移住する者が、市内の空家住宅等のリフォームを実施する際に、移住促進空家等リフォーム補助金を交付することにより、中古住宅等の空き家の有効活用を図るとともに、本市への移住・定住の促進を図る。

- ◆ **若者による博物館の新たな魅力創出事業費** 【新規】 68万9千円 《教育費》
 若者の感性を十二分に活用した展覧会を開催し、新たな視点による地域資源の掘り起こしを行うとともに、本事業を通じて地域文化の理解を進め、地元への愛着を深めることを目的とする。

- ◆ **スポーツ施設改修事業費** 【新規】 3億円 《教育費》
総合運動公園のサッカーメイングラウンドの人工芝について、利用者の安全性を確保するための修繕を行う。

7 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

- ◆ **外部人材活用事業費** 【新規】 1,462万9千円 《総務費》
民間企業との人事交流や専門的なスキルを持った外部人材の活用することで、若者の価値観を取り入れた新しい考えや柔軟な発想による人材育成、人事制度の構築、組織改革を進め、ヘルシーな職場環境の整備、多様な人材の確保を行う。
- ◆ **スタートアップ共創推進事業費** 【継続】 1,222万2千円 《総務費》
令和5年度に策定した戦略・ビジョンに沿って、桑名市内外の機運醸成、ネットワーキング（関係づくり）、案件組成のための仕組みづくり等を行う事業を実施する。
- ◆ **次世代デジタル人材育成事業費** 【新規】 110万円 《総務費》
小学生向けプログラミング体験教室を開催するほか、若者向けに情報処理資格取得を推進し、デジタル社会を担う人材育成へとつなげる。
- ◆ **窓口業務最適化事業費** 【新規】 2,127万5千円 《総務費》
本庁舎でライフイベントごとに関連手続きを受付する書かないワンストップ窓口を導入し、窓口業務の最適化を図り、事務処理を効率的・安定的に推進するため、民間事業者へのアウトソーシングを活用する。

8 その他

- ◆ **宅配再配達削減啓発事業費** 【新規】 270万円 《総務費》
多様化するライフスタイルに合わせた生活の利便性向上、宅配再配達削減によるCO2排出量の抑制、2024年問題に対する宅配事業者の負担軽減を図るため、家庭用宅配ボックス等を購入・設置した世帯に対し、購入費用の一部を補助する。